

K120.44

29a

1

文學社編輯所編纂

小學新算術 珠算

高等科兒童用

東京 文學社

卷一 目次

第一章 加法・減法及び加減法.....	一
第二課 加法・減法及び加減法の練習.....	一
(一) 加法.....	一
(二) 減法.....	九
(三) 加減法.....	十六
第二課 萬位以上の数の加法減法及び 加減法.....	二十五
(一) 布算法及び讀數法.....	二十五
(二) 加法.....	二十七
(三) 減法.....	三十
(四) 加減法.....	三十三
第二章 小數.....	三十九
(一) 布算法及讀數法.....	三十九

(二) 加法.....	四十二
(三) 減法.....	四十八
(四) 加減法.....	五十三
第三章 諸等數.....	五十九
(一) 布算法.....	六十
(二) 加法.....	六十一
(三) 減法.....	六十八
(四) 加減法.....	七十四
第四章 練習及び應用.....	八十一
雜題.....	八十一

新算術 珠算 高等科 卷一

第一章 加法減法及び加減法

第一課 加法減法及び加減法の練習

(一) 加法

問題

左の和を求むべし。

- (一) 百二十四 百二十一
- 百二十三 百二十八
- 百四十五 百六十七
- (二) 二百二十九 二百二十六
- 三百三十五 四百十二
- 五百八 九十三
- (三) 二百八十五 三百十七

- 四百六十八 百九十一
- 六百七十 五百九十九
- 四 五百五十六 四百十一
- 五百四十三 三百五十八
- 三百九十九 四百六十九
- 五 百六十二 百四十九
- 百三十六 二百四十四
- 百六十一 百八十六
- 六 百八十六 二百五十六
- 二百三十四 二百四十一
- 二百二十三 百二十六
- 七 四百八十四 三百二十九
- 百三十一 三百二十六
- 百六十八 五百四十九
- 八 五百二十 百四十三

- 二百四十七 三百十九
- 三百八十九 四百四十一
- 九 千八百八十七 四百三十九
- 八百五十四 五千二百三十七
- 二〇 二千二百五十九 二百九十四
- 二千四百二十九 三千四百十八
- 二 壹圓貳拾五錢八厘
- 貳圓七拾四錢九厘
- 壹圓六拾錢 貳圓貳拾九錢五厘
- 二 壹圓五拾參錢貳厘
- 壹圓貳拾參錢八厘 貳圓五錢貳厘
- 壹圓拾四錢六厘
- 三 一石二斗三升四合
- 一石二斗六升八合
- 二石七斗三升七合

- 一石四斗七升八合
- (一四) 二石四斗三升二合
- 一石五斗九升九合 一石三升五合
- 二石八斗八合
- (一五) 一丈四尺三寸五分 二尺四寸五分
- 二丈三尺三寸四分
- 二丈二尺三寸四分
- (一六) 三丈四尺九寸七分 八尺九寸一分
- 一丈四尺五寸七分 七尺八寸九分
- (一七) 九圓五拾壹錢 拾貳圓參拾貳錢
- 六圓八拾九錢 貳拾壹圓六拾六錢
- (一八) 一貫三百三匁 一貫五百九匁
- 一貫四百一匁 三貫三匁
- 五百十匁 百一匁
- (一九) 拾五圓七拾八錢 貳拾五圓

- 八圓壹錢 拾圓拾錢
- 貳拾圓 壹圓五拾五錢
- (二〇) 拾五圓貳拾錢
- 八圓七拾五錢
- 拾圓六拾八錢 貳圓九錢
- 八拾參錢 五圓
- (二一) 左の讀本の枚數を合算せよ。
- 二十五枚(卷二) 二十七枚(卷二)
- 二十八枚(卷三) 三十枚(卷四)
- 三十三枚(卷五) 三十五枚(卷六)
- 三十六枚(卷七) 三十九枚(卷八)
- (二二) 左の習字帖の字數を合算せよ。
- 百三十八字(卷一) 百三十五字(卷二)
- 百四十六字(卷三) 百五十字(卷四)

百五十九字(卷五) 百六十二字(卷六)

百七十六字(卷七) 百八十四字(卷八)

(二三) 左の書物の代價を合算せよ。

金拾七錢(讀本卷二)

金拾八錢五厘(讀本卷二)

金貳拾壹錢(歴史)

金拾五錢(地理)

金貳拾參錢(理科)

金拾貳錢(習書帖二册)

金拾四錢四厘(習字帖二册)

金拾參錢(修身)

(二四) 左の品物の代金を合算せよ。

金參錢八厘(書學紙)

金四錢五厘(鉛筆)

金五錢(消ゴム)

金拾錢(インキ)

金九錢五厘(ペン及びペン軸)

金五錢六厘(西洋紙)

金拾參錢五厘(小刀)

金六錢(手帳)

(二五) 左の品物の代金を合算せよ。

金四拾五錢(帽子)

金壹圓貳拾八錢(クツ)

金七錢五厘(クツ下)

金六拾錢(カバン)

金參拾四錢貳厘(シャツ)

金參拾六錢(モ、ロキ)

金貳拾參錢(ハオリロモ)

(二六) 左の材木の數を合算せよ。

松二百四十八本 杉三百五十三本

ヒノキ五十五本 モミ 百九本

栗 四十七本 クノギ百八十六本

ナラ六十一本 此の外の木九十四本

(二七) 左の計算をなせ。

$$227+259+238+59+108+1234+38+343$$

(二八) 左の六本の繩あり、これを引きのばさば幾何なるか。

一丈二尺五寸六分 七尺六寸七分

一丈八寸五分 九尺二寸四分

一丈二尺 二丈七尺二分

(二九) 左の人口を合算せよ。

千六百四十人 二千九百五人

千五百八十二人 千二百二十八人

九百三十七人 千八十三人

(三〇) 左の戸数を合算せよ。

九百二十八戸 六百四十五戸

七百三十六戸 五百十九戸

八百五十七戸 四百六十三戸

七百九十四戸

(二) 減法

問題

(一) 二千九百五十六より、一千八百七十九を減ぜよ。

(二) 二千より、八百五十を減ぜよ。

(三) 二千五百四十六より、一千二百六十八を減ぜよ。

(四) 二千十より、五百一を減じ、更に三百十七を減ぜよ。

(五) 二千三十より、一千二百四十

九を減じ更に百八十三を減ぜよ。

(六) 4680 - 4289

(七) 5429 - 3379

(八) 5384 - 4495

(九) 8000 - 6748 - 288

(一〇) 9436 - 6679 - 1787

(一一) 甲村の人口は六千二百五十七人にして、乙村の人口は七千四百四十三人なり、其の差幾何なるか。

(一二) 綿一貫目の入用あるに、手元に八百一匁あり、尙ほ幾匁を買はゞ足るべきか。

(一三) 米七斗九升三合あり、更に幾

何を足さば、一石となるか。

(一四) 金四圓六拾四錢七厘あり、更に幾何を足さば、金五圓となるか。

(一五) 兄の體量は、八貫六百四十六匁にして、弟の體量は、五貫八百六十七匁なり、弟は兄より體量幾何少きか。

(一六) 繩六丈三尺七寸五分あり、更に幾何を足さば八丈となるか。

(一七) 或る人、一箇月の收入金貳拾五圓にして、出費金拾九圓七拾六錢なりといふ、然るときは殘金幾何なるか。

(一八) 二本の旗竿あり、一本は其の

長さ二丈八尺七寸三分にして、一本は三丈二尺五寸なり、其の差幾何なるか。

(一九) 木綿三丈四尺三寸五分あり、其の内一丈五尺四寸六分を費したり、残り幾何なるか。

(二〇) 五圓紙幣一枚にて參圓七拾五錢五厘の買物をなせり、釣錢幾何なるか。

(二一) 玄米六石一斗五升をつきて、白米五石四斗七升六合を得たるときは、其のつきべり幾何なるか。

(二二) 甲村の人口は、六千七百三十五人にして、乙村の人口は甲村

より二百八十七人少く、丙村は乙村より尚ほ百五十三人少しといふ、乙村と丙村と各人口幾何なるか。

(二三) 金四拾五圓八拾七錢あり、其の内五圓參拾五錢を費し、次に四圓五拾六錢を費さば、殘金幾何なるか。

(二四) 白米八石三斗三升の内、三石八斗九升四合と、四石五升九合とを小賣せば、残り何程なるか。

(二五) 地所の合計二十五町八段三畝の内、三町九段九畝は畑、八町四段五畝は田にして、餘は皆山林なるときは、山林の段別何程

なるか。

(二六) 或る人、商業をなして、金五拾貳圓拾錢を、まうり、其の内金拾九圓六拾七錢を費したりといふ、殘金幾何なるか。

(二七) 或る人、米六十石を仕入れたるに、其の内三十七石八斗六升を賣り拂ひしといふ、差引現在高何程なるか。

(二八) 宅地五千二百坪あり、内千六百二十六坪を貸し附け、二千六百六十八坪を賣り拂ふときは、差引現在の地面幾坪なるか。

(二九) 次の書付あり、此の差引金高を求めよ。

記

一金拾圓 入

内

一金壹圓參錢 薪代

一金壹圓四拾五錢七厘 油代

一金六拾四錢八厘 炭代

差引殘金

(三〇) 臺灣の新高山は、海面よりの高さ、一萬二千八百五十尺にして、駿河の富士山は、これより四百八十尺低く、加賀の白山は、富士山より三千四百二十三尺低しといふ、然るときは、白山の高さ幾尺なるか。

(三) 加減法

問題

- (一) 七千五百九十より、四千三百五十六と千二百五十六との和を減ぜよ。
- (二) 四千六百三十五より、二千三百三十五と二千二百八十四との和を減ぜよ。
- (三) 千百三十九と、三千五百九十八との和を、五千八百三十六より減ぜよ。
- (四) 三千四百五十六と、千二百三十四との和を、六千四百五十六より減ぜよ。

- (五) 八千七百九十一より、四千三百四十一と、二千二百五十四との和を減ぜよ。
- (六) 三百九十五と、二千五百七十七と、百二十八と、七千五百七十五との和より、三千二百八十四を減ぜよ。
- (七) 千三百五十六と、二百五十四と、百二十五と、七千五百六十七との和より、四千五百六十四を減ぜよ。
- (八) 二千八百四十五と、三百九十と、二千四十五と、二百三十五との和より、三千九百九十九を減ぜよ。

- (九) $437 + 4238 + 254 + 1029 = 5466$
- (一〇) $4995 + 3500 = 7059 + 341 = 98$
- (一一) $568 + 2436 = 1999 + 2758 = 549$
- (一二) $4563 = 3988 + 456 + 5006 = 4398$
- (一三) $3338 + 2702 = 5097 + 3826 = 2977$
- (一四) $5893 = 4125 + 540 + 2048 = 1009$
- (一五) $3881 + 1119 = 4903 + 507 + 2941$
- (一六) 四尺六寸七分と、二尺七寸八分との和より、三尺五寸二分と一尺六分との和を減ぜよ。
- (一七) 六百四十九匁と一貫三百八匁との和と、三百六十七匁と二貫四百十匁との和との差幾何なるか。
- (一八) 金五圓九拾六錢四厘より、金

壹圓八拾六錢七厘と、金五拾九錢參厘と金參圓五錢との合計を減ぜよ。

- (一九) 金拾貳圓四拾四錢と、參圓參拾九錢との合計と、金拾壹圓六拾壹錢と、四圓參拾六錢との合計との差幾何なるか。

- (二〇) 金七圓五拾錢の内より、左の買物をなしたり、殘金幾何なるか。

- 金七拾五錢(机)
- 金壹圓參拾錢(本箱)
- 金拾錢五厘(硯箱)
- 金八錢四厘(筆筒)
- 金參錢六厘(水入)

金參拾貳錢八厘（机掛）

（二）左の一箇年間の勘定をなすべし。

金六拾參錢八厘（二月分支拂）

金五拾四錢七厘（二月分支拂）

金七拾壹錢貳厘（三月分支拂）

金四拾參錢九厘（四月分支拂）

金六拾錢參厘（五月分支拂）

金九拾參錢九厘（六月分支拂）

金七拾九錢（七月分支拂）

金八拾五錢（八月分支拂）

金八拾四錢五厘（九月分支拂）

金五拾九錢四厘（十月分支拂）

金六拾七錢七厘（十一月分支拂）

金八拾貳錢壹厘（十二月分支拂）

（二二）或る數より、二千三百五十八を減ずれば、七千六百四十となるといふ、或る數幾何なるか。

（二三）或る村の人口を算するに、男は二千六百七十三人にして、女は男より二百四十五人少しいふ、然らば、其の合計幾何なるか。

（二四）甲乙丙丁の四人各、金を出して會社を立てたるに、其の出金高、甲は金六百七拾圓、乙は金九百貳拾五圓、丙は金七百四拾圓にして、丁は甲乙丙三人の出金高に同じといふ、然るときは、此の會社の資本金幾何なるか。

(二五) 或る人金貳拾五圓六拾五錢を所持し、其の内左の支拂をなしたり、殘金何程なるか。

金拾貳圓拾參錢 宿賃

金四圓五拾四錢 中食

金壹圓五拾九錢 汽車賃

金壹圓八拾五錢 人力車賃

金壹圓五拾貳錢 船賃

金九拾五錢 諸買物

(二六) 次の書付を計算せよ。

記

一金五拾圓 炭仕入代

一金貳圓五拾錢 運賃

一金貳拾八圓六拾錢 現金賣

一金貳拾八圓四拾參錢 掛賣

一金貳拾六圓八錢 (現在品) 見積代金

差引利益金

(二七) 或る人金九圓六拾七錢八厘を有し、其の内、甲に參圓貳拾七錢八厘を與へ、乙には、甲より壹圓八拾貳錢六厘少く與へたりといふ、然らば其の殘金幾何なるか。

(二八) 上中下三種の米あり、上は中より二斗一升三合少く、又下より三斗五合少し、而して下は八石八斗八升六合なり、上及び中の石高幾何なるか。

- (二九) 左の地面の坪數を合算せよ。
- (い) 五百二十七坪 (ろ) 五百八十四坪
 - (は) 四百九十五坪 (に) 二百十九坪
 - (ほ) 百三十四坪 (へ) 二百七十二坪
 - (と) 二百七十坪 (ち) 百四十六坪
 - (り) 六十四坪

(三〇) 次の書付を計算せよ。

記

- 一金貳拾六錢五厘 大根代
- 一金拾八錢九厘 いも代
- 一金拾貳錢七厘 にんじん代
- 一金拾五錢四厘 くわぬ代
- 一金貳拾八錢貳厘 蓮根代
- 一金拾五錢六厘 かぶら代

金

内金九拾五錢五厘入

差引金

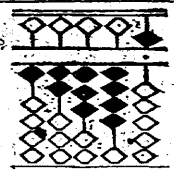
第二課

萬位以上の數の加法減法及び加減法

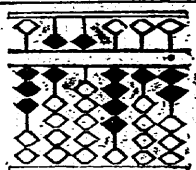
(一) 布算法及び讀數法

萬位の數を算盤にあらはすには、千位の桁の一桁左の算珠を以て之を示すなり。即ち此の桁の珠一つは一萬、二つは二萬、三つは三萬と珠の數を追うて十萬に至れば、其の一桁左の算珠一つを以て之を示す。十萬の桁に珠二つあれば二十萬、珠三つあれば三十萬にして、十に滿つれば、また其の一桁左

の算珠一つを以て之を示す。これ即ち百萬なり。



今一萬二千三百四十五を算盤に置くには、一位より左へ一、十、百、千、萬と計へて、上圖の如く、萬位に一萬の一を置き、それより二、三、四、五、をそれぞれ其の桁に置くなり。



又上圖の如き數ありて、其の一位錢なるときは、錢位より左へ錢、十圓、十、百、千とかぞへて、此の數の參千六百五拾四圓拾貳錢なることを知るべし。

(二) 加法

問題

- (一) 參圓貳拾五錢八厘と、五圓七拾五錢九厘と、拾參圓五拾錢と五圓貳拾九錢五厘との和を問ふ。
- (二) 四圓五拾參錢貳厘と、八圓貳拾四錢七厘と、六圓五錢五厘と、九圓拾四錢六厘との和を問ふ。
- (三) 金四拾五圓七拾八錢五厘と參拾圓九拾錢と、五拾壹圓壹錢と、拾圓拾錢と、貳拾五圓九拾九錢八厘と、八圓五拾錢との和を問ふ。

(四) 三丈四尺九寸七分と、五丈八尺九寸一分と、十一丈四尺六寸七分と、七丈八尺九分と、五丈四尺六寸七分との和を問ふ。

(五) 左の如き七本の繩あり、之をつなぎあはさば幾何なるか。

五丈二尺五寸七分 七丈六寸五分
十丈二尺八寸五分 九尺三寸四分
五丈二尺五寸 二丈七尺二分
一丈二尺六寸六分

(六) 九貫三百三十一匁と、五貫三百匁と、二貫八百七匁と、七貫七百三十四匁との和を問ふ。

(七) 左の五種の砂糖の貫目を合算せよ。

五貫六百匁（二等白）
三貫七百五十匁（二等白）
二貫四百八十匁（三等白）
四貫八百匁（二等黒）
一貫二百五十匁（二等黒）

(八) 左の見積價額の合計幾何なるか。

金五拾六圓八拾錢（勝手道具）
金參拾七圓五拾錢（文房具）
金百五拾參圓四拾錢（書籍）
金參百六拾壹圓九拾八錢（衣服）
金四拾壹圓八拾五錢（雜品）

(九) 或る人、紙幣にて五百貳拾五圓、銀貨にて百五拾八圓六拾錢、白銅貨にて拾壹圓貳拾五錢、銅

貨にて貳圓參拾四錢五厘、舊青銅貨にて金四拾七錢八厘を有せり、合計金幾何なるか。

(二〇) 或る人其の所有金を計へしに、逓信省貯金參百貳拾八圓、甲銀行預け金六百八拾五圓、乙銀行預け金貳百五拾七圓五拾錢、手元有金四拾九圓七拾貳錢なりといふ、合計金幾何なるか。

三減法

問題

- (一) 三萬五千五百三十六より、八千六百七十九を減ぜよ。
- (二) 五萬二千より四萬七百四十

六を減ぜよ。

(三) 三萬四千六百三より八千七百十九を減じ、又一萬五百二十八を減ぜよ。

(四) 四萬二百四十一より、二萬六千二百七十九を減じ、又一萬二千六十三を減ぜよ。

(五) 米六十一石六斗五升三合より、三十六石三斗九升を減じ、又二十三石七升五合を減ぜよ。

(六) 金百貳拾參圓八拾七錢五厘あり、其の内金貳拾五圓參拾九錢七厘を費し、次に四圓五拾六錢を費さば、殘金幾何なるか。

(七) 或る人の所有せる田と畑と

の地價金合計八百參拾七圓五拾錢にして、其の内畑の地價參百四拾六圓八拾錢九厘なりといふ、田の地價幾何なるか。

(八) 或る人地價金百九拾六圓貳拾五錢五厘の山林を有し、其の内六拾八圓五拾錢七厘だけの山林を賣り拂へり、現在所有の山林地價幾何なるか。

(九) 米一俵の目方十六貫二百四十匁あり、其の内四百八十五匁を減ずるときは、現在の目方幾何なるか。

(一〇) 玄米十六石八斗八升をつきて、白米十五石三斗七升六合を

得たるときは、つきべり何程なるか。

(四) 加減法

問題

(一) 七萬二千四百六十八より、四萬五千六百七十と、八千七百五十八との和を減ぜよ。

(二) 二萬六千五百四十三と、四萬七千六百七十との和より、五萬七千六百九十九を減ぜよ。

(三) 商人あり、金百貳拾七圓五拾錢を以て、米・麥・大豆を買ひしに、米の代金六拾參圓貳拾五錢六厘、大豆の代金四拾六圓七拾八

錢なりといふ、麥の代金幾何なるか。

(四) 金九拾貳圓四拾四錢九厘と參拾參圓九拾錢七厘との合計と、金貳拾八圓六拾壹錢壹厘と九圓參拾六錢七厘との合計との差幾何なるか。

(五) 或る人米と麥とを買ひ、米の代金百七拾八圓六拾五錢、麥の代金百參拾六圓五拾錢を拂ひしに、尙ほ殘金五拾九圓九拾八錢ありきといふ、此の人の最初所有せし金額何程なるか。

(六) 或る人金貳百八拾七圓五拾五錢を有す、此の内入用ありて

百貳拾九圓八拾貳錢八厘を費し、其の後百八拾七圓六拾錢の入金ありしといふ、現在所有の金幾何なるか。

(七) 或る人貯金六百四拾七圓五拾錢八厘あり、之を金千圓になさんには、尙ほ幾圓を増すべきか。

(八) 或る人金千參百五拾圓を以て、商法を始め、初年は百五拾八圓六拾五錢八厘を損じ、次年は貳百六拾參圓七拾錢五厘を益し、三年目は百八拾九圓四拾五錢を益せり、三年末の資産幾何なるか。

(九) 或る人其の財産を調べしに、

左の如くなりしといふ、合計幾何なるか。

金千八百貳拾五圓六拾錢(田)

金九百四拾圓七拾五錢五厘(畑)

金六百八拾六圓貳拾錢(山林)

金五百參拾七圓九拾八錢(宅地)

(一〇) 或る市の人口は十五萬四千

九十三人にして、或る町の人口

は一萬五千六百九十七人なり

といふ、其の差幾何なるか。

(一一) 四箇所の地面あり、甲は一萬

一千六百四十八坪、乙は九千五

百三十六坪、丙は二萬六百五十

坪、丁は五千八百七十二坪なり、

合計幾何なるか。

(一二) 左の十日間の賣上勘定をなすべし。

金拾六圓七拾五錢

金貳拾參圓八拾貳錢八厘

金九圓六拾七錢四厘

金拾圓參拾貳錢

金拾四圓拾九錢九厘

金八圓四拾錢六厘

金拾九圓五拾參錢

金貳拾壹圓九拾錢

金拾八圓八拾八錢壹厘

金拾壹圓四拾錢

(一三) 或る人金百貳拾八圓六拾七

錢八厘を有し、其の内甲に四拾

九圓貳拾七錢五厘を與へ、乙には甲より七圓八拾貳錢六厘少く與へたりといふ、然らば其の殘金幾何なるか。

(二四) 米十二石八斗六升八合あり、内九石九斗八升七合を減じ、十四石六斗四升五合を加ふれば幾何なるか。

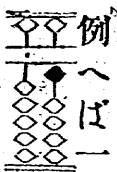
(二五) 左の米俵の目方を合算せよ。

- 十六貫百三十六匁
- 十六貫二百十九匁
- 十五貫八百五十匁
- 十六貫四十匁
- 十五貫九百二十七匁
- 十五貫七百三匁

第二章 小數

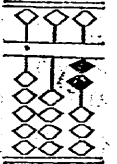
(一) 布算法及び讀數法

一個の十分の一は一分にして、一分の十分の一は一厘、一厘の十分の一は一毛、一毛の十分の一は一糸、一糸の十分の一は一忽なり。故に小數を算盤に置くには、一位の一つ右に分を置き、それより厘、毛、糸、忽と順次右の方に進むべし。



例へば一分を算盤に置くときは、この分位の珠十に滿つるときは一個にして、一位の桁に一を置く

べし。

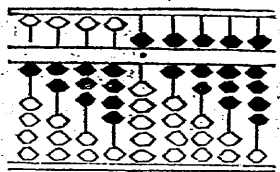


又上圖の如く、黒點の二
 桁右に二つあるときは、
 黒點より右へ、一分、厘と計へ、厘位
 に二あるを以て、二厘なることを
 知るべし。通常小數にては、右の如
 く、個を一位とし、貨幣にては、圓、容
 量にては升、尺度にては尺、秤量に
 ては貫、地積にては坪を一位とす。

名目	萬位	千位	百位	十位	一位	小數
通常數						個分厘毛糸
貨幣						圓十錢錢厘毛
容量				石斗		圓十錢錢厘毛
尺度					丈尺寸分厘毛	
秤量					貫百匁十匁	匁分
地積					坪合勺	

こゝにては、貨幣は圓、秤量は貫を

一位としたれど、場合により、貨幣
 は錢、秤量は匁を一位とすること
 あるべし。



今上圖の如き數ありと
 せば、五のところ一位な
 るを以て、之に位を命ず
 れば、左の如し。

(通常小數) 一萬二千三百四十五

個六分七厘八毛九糸

(貨幣) 壹萬貳千參百四拾五圓六

拾七錢八厘九毛

(容量) 百二十三石四斗五升六合

七勺八九

(尺度) 千二百三十四丈五尺六寸

- 七分八厘九毛
- (秤量) 一萬二千三百四十五貫六
百七十八匁九分
- (地積) 一萬二千三百四十五坪六
合五勺八九

(二) 加法

小數を加ふるには、先づ一位を定めて布算し、次の數を各相當したる桁に加ふべし。

問題

左の諸數の和を求めよ。

- (一) 三個七分 四個六分
八個三分 九個五分

- (二) 五個六分 二十八個
六個一分 十七個五分
- (三) 八分 三個七分五厘
五個七分八厘 二十四個五分
五十個一分三厘
- (四) 二個五分八厘 七個六分八厘
八厘八毛 五個六分八厘五毛
十三個七分四厘
- (五) 七個九分八厘八毛 三個一
分七厘五毛 二個七分八毛
八個五厘七毛 九個七分四厘
- (六) $5.876 + 3.56 + 3.002 + 17.75 + 18.57 + 12.508$
- (七) $3.15 + 138.7 + 17.57 + 138.6 + 19.78 + 120$
- (八) $.858 + 157 + 1.587 + 5.435 + 6.478 + 12$
- (九) $7.896 + 3.402 + 005 + 078 + .593 + 12.7 + 18.1$

(一〇) $3.89 + 12.57 + 13.47 + 18.58 + 12.3$

(一一) 六尺四寸三分と六寸五分と
三尺九寸三分と五尺六寸八分
と五尺三寸七分との和を問ふ。

(一二) 一尺六寸七分と四尺八寸と
一尺九寸九分と六尺二分と四
尺二寸八分と三尺四寸との和
を問ふ。

(一三) 金五拾參錢六厘と六拾錢九
厘と拾六錢五厘と六錢五厘と
四拾壹錢四厘との和を問ふ。

(一四) 金壹圓五拾四錢九厘と五拾
錢六厘と拾錢參厘と拾九錢と
貳拾六錢壹厘との和を問ふ。

(一五) 米三斗九升四合と、四斗五升

九合と、一石一升八合と三斗と、
五升九合と、三斗一升との和を
問ふ。

(一六) 麥三斗六升と、八升九合と、五
斗四合と、二升五合と、五斗二升
八合と、五斗六升四合との和を
問ふ。

(一七) 金貳圓六拾四錢と、六圓四錢
と、壹圓六拾四錢五厘と、貳圓貳
拾錢八厘との和を問ふ。

(一八) 金百貳拾五圓五拾錢と、貳拾
八圓六拾錢と、九拾圓七拾錢と、
九拾六圓七拾參錢との和を問
ふ。

(一九) 一丈五尺六寸と、二丈三尺と、

四尺五寸と、三丈七尺と、九尺六寸と、二丈七尺五寸との和を問ふ。

(二〇) 十二丈八尺と、三丈七尺五寸と、二丈三尺六寸と、四丈七尺八寸と、三尺三寸との和を問ふ。

(二一) 一石五斗八升と、十二石三斗五升と、四石四斗七升と、六石三斗五升と、一石四斗九升と、三石四斗一升との和を問ふ。

(二二) 二石四斗五升と、三石八斗六升と、八石八斗と、四石五斗四升五合と、三石八斗六合との和を問ふ。

(二三) 米商あり四日間、左の如く

小賣せり、合せて幾何なるか。

二石六斗五升四合 (第一日)

三石四斗八升二合 (第二日)

一石三斗七升五合 (第三日)

四石五斗一升一合 (第四日)

(二四) 或る人、次の如き買物をなせり、總金高何程なるか。

金貳圓九拾五錢 雙子四端

金參圓六拾貳錢五厘 紬 一端

金壹圓八拾九錢 秩父紬一端

金八圓 四拾錢 結城紬二端

金貳圓四拾五錢 新玉紬一端

(二五) 次のとき六本の繩あり、これをつなぎ合すれば幾何なるか。

一丈八尺九寸 二丈三尺四寸
 一丈四尺八寸 三丈九尺
 四丈九寸 二丈四尺七寸
 (二六) 次の書付を勘定して、其の合計高を記せよ。

記

一金拾貳錢
 一金參拾錢
 一金七圓貳拾壹錢五厘
 一金參圓七拾八錢五厘
 一金參圓拾七錢貳厘
 一金四拾七錢八厘
 合計

(三) 減法

先づ一位を定めて布算し、次の數を相當したる桁より減すべし。

問題

- (一) 七個五分五厘より、二個八分を減せよ。
- (二) 十個六分より、九個一分を減せよ。
- (三) 二十個より、八分七厘を減せよ。
- (四) 一個は三分七厘五毛より幾何多きか。
- (五) 六十個三分四厘より、十五個九分二厘と、七分八厘とを減せよ。

- (六) 六個二分一厘七毛と、五個四分三厘九毛との差を問ふ。
- (七) 九個七分二毛は、五個八厘六毛より幾何多きか。
- (八) 四個九分八厘七毛より、二個九分六厘一毛を減じ、更に一個六厘五毛を減ぜよ。
- (九) 5.689 - 3.795 = 1.307
- (一〇) 123.78 - 98.58 = 6.907
- (一一) 8.309 - .58 = .989
- (一二) 11.57 - 2.895 = 8.8
- (一三) 100 - 9.008 = 28.7
- (一四) 375 - 8.97 = 7.985
- (一五) 78.9 - 1.34 = 2.045 - 1.058
- (一六) 米二十三石四斗五升より、十

七石三斗八升を減じ、又二石九斗六升を減ぜよ。

(一七) 金貳拾八圓九拾七錢あり、其の内金拾參圓參拾七錢八厘を費し、次に九圓八錢五厘を費せば、殘金幾何なるか。

(一八) 或る人、地價金貳百七拾參圓九拾五錢の田地を所有せしが、この内百五拾圓七拾八錢だけの田地を賣り拂へり、現在所有の田地の地價金幾何なるか。

(一九) 玄米一石八斗をつきて、白米一石六斗九升五合を得たり、つきべり幾何なるか。

(二〇) 白米八石四斗七升の内、二石

四斗九升四合と五石二斗八升六合とを小賣せば、残り幾何なるか。

(二) 風糸九丈七尺八寸六分あり、これを十丈八尺となすには、何程を足すべきか。

(三) 絹五丈六尺五寸にて、一丈六尺四寸と一丈八尺七寸との衣服を作らば、残り幾何なるか。

(四) 米麥各一俵あり、米俵は十六貫四百五十匁にして、麥俵はこれより三貫八百九十五匁少しといふ、麥俵の重さ幾何なるか。

(五) 炭十八貫六百九十五匁あり、この内九貫九百六十七匁と、三

貫百五十匁とを費さば、残り幾何なるか。

(四) 加減法

問題

- (一) $.89 + 7.743 + 1.234 - 6.578$
- (二) $2.36 + 3.47 - 4.857 + 3.709$
- (三) $3.48 - 2.596 + 3.333 + 5.873 - 6.9$
- (四) $123.8 + 73.9 + 9.87 - 150.007$
- (五) $394.89 + 273 + 37.789 + .08 - 450.8$
- (六) $14.025 + 3.875 + .0598 + 5.672 - 15.0073$
- (七) $3.86 + 787 - 3.875 + .059 + 5.67$
- (八) $4.089 + .779 - .3841 + 3.897$
- (九) $3.913 + 4.567 - 1.203 - 5.678$
- (一〇) $9.62 + 3.87 + .1253 - 4.82$

- (一) 三つ組の銀杯あり、其の目方、大は二十八匁五分、中は二十二匁二分、小は十七匁八分なりといふ、合計目方幾何なるか。
- (二) 或る人、米屋に四圓貳拾壹錢八厘、肴屋に壹圓四拾五錢、八百屋に壹圓六拾五錢の借あり、今金拾圓を以て支拂ふときは、殘金幾何なるか。
- (三) 金と銀との合金あり、其の目方十二匁八分五厘にして、内金は五匁五分三厘なりといふ、銀の目方幾何なるか。
- (四) 井戸の深さを測りしに、水底まで五丈八尺五寸にして、水際

- まで二丈九尺五寸五分なりといふ、水の深さ幾何なるか。
- (五) 或る人金拾五圓を有し、其の内七圓七拾五錢六厘と、四圓五拾九錢八厘との買物をなせり、殘金幾何なるか。
- (六) 眞綿二十五匁を買ひて、八匁七分五厘と、九匁三分とを費せり、残り何程なるか。
- (七) 三個六分四厘と、二個八分三厘との和に幾何を足さば十個となるか。
- (八) 三十一坪二合六勺と、二十五坪八合一勺との差に、十五坪四合を加へよ。

(一九) 絹三丈五尺二寸六分より、二丈八寸六分七厘をきり取れり、残り幾何なるか。

(二〇) 年に金六百圓の收入ある人あり、一箇年の内、家賃に金九拾六圓、食料に百七拾八圓五拾錢八厘、衣服に百四拾圓七拾貳錢六厘、書籍器具に五拾九圓貳拾錢、其の他雜費に六拾八圓拾九錢七厘を要するときは、殘金幾何なるか。

(二一) 田地百二十三町四段五畝と、六十七町八段九畝と、十三町五段七畝と、二十四町六段八畝と、九町との和を問ふ。

(二二) 畑百二十三町四段五畝あり、この内、八十六町五段六畝を賣れば、残り何程なるか。

(二三) 米百石の内より、二十三石四斗五升二合と、三十一石二斗八升七合と、十二石六斗九升五合とを引けば、残り幾何なるか。

(二四) 米十石を買ひ入れ、初に五石三斗二升五合をつかひ、次に四石三斗四升八合をつかへり、残り幾何なるか。

(二五) 或る人、田三十二町四段一畝と、畑四十三町二段四畝とを有せり、この内、田十五町八段三畝と、畑十七町六段五畝とを賣ら

ば、残り幾何なるか。

(二六) 二筋の繩あり、一は四丈二尺四寸三分、一はこれより四尺六寸短し、この二筋の合計長さ何程なるか。

(二七) 左の如く納税する人あり、合計何程なるか。

地方税地租割七拾七錢貳厘

市税地租附加税參拾七錢

特別税地租割壹圓六拾八錢九厘

地方税家屋税壹圓參拾八錢

市税同附加税壹圓八拾錢五厘

特別税家屋税參拾八錢八厘

區費家屋割參拾壹錢

(二八) 右の題の内、家屋にかゝるもの、合計は、地租にかゝるものの合計より何程多きか。

(二九) 或る人、金貳千五百圓を以て、商業をなし、初に參百八拾九圓六拾錢を損し、後に四百拾參圓九拾五錢を益せりといふ、此の人現在の所有金幾何なるか。

(三〇) 一家を新築せしに、材木代四百八拾六圓五拾錢、大工拂百八拾貳圓七拾五錢、瓦師拂百六拾七圓九拾錢五厘、左官拂百七拾參圓八拾錢、建具屋拂八拾九圓六拾八錢七厘なりきといふ、合計何程なるか。

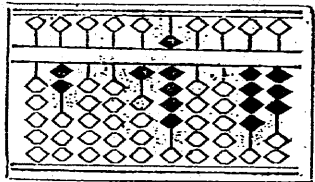
第二章

諸數等

(一) 布算法

諸等數を算盤に置くには、各名數を別々にし、桁をへだてて、之をあらはすべし。

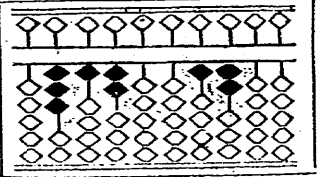
(例) 二里十九町四十三間と置く。



上圖の如く、二里の二を左に置き、それより二桁隔て、右に十九町の十九を置き、又三桁隔て、右に四十三間の四十三を置くべし。

(例) 三町一段二畝十二歩と置く。

右の問題の内にて町段畝は十進



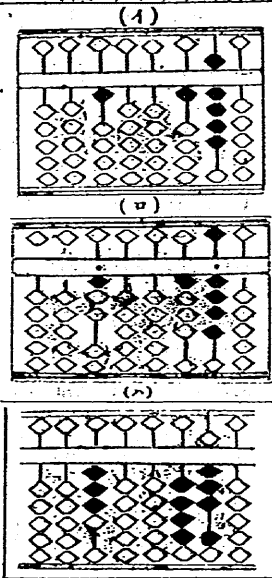
名數なるを以て、上圖の如く三町一段二畝を一まとめにして畝を一位とし、次に二桁右の方へ十二歩を置くべし。

(二) 加法

諸等數を加ふるには、前の布算法によりて、初の一數を置き、これに加ふべき數の各項を上項より順次に、それと相當の桁に加ふべし。かくて其の和を下項よりしらすべし。上項の相當數より大なる數あるときは、之を順次に上項にくり

上ぐるなり。

(例) 一里十九町に二里二十五町を加へよ。



先づ(イ)の如く一里十九町を置き、次に二里を里の桁に加へ、二十五町を町の桁に加ふるときは、(ロ)の如く三里四十四町となる、四十四町は一里即ち三十六町より多きを以て、これより三十六町を減じ、里の桁に一を加へて(ハ)の如くす

べし。四里八町は即ち其の答なり。

問題

- (一) 一町二十五間に、三町三十四間を加へよ。
- (二) 一里五町に二里二十一町を加へよ。
- (三) 五里十九町に六里十五町を加へよ。
- (四) 一町二十間三尺と二町四十五間二尺と十五町五尺との和を問ふ。
- (五) 三日八時に四日十二時を加へよ。
- (六) 五時二十七分に四時四十五

- 分を加へよ。
- (七) 二時三十四分五十秒と三時三十六分二十七秒と一時四十分との和を問ふ。
- (八) 五週三日十五時と、二週六日十一時と、三週一日十八時との和を問ふ。
- (九) 七畝十歩に四畝十九歩を加へよ。
- (一〇) 二段四畝十九歩に一段七畝十六歩を加へよ。
- (一一) 兒童あり、毎日午前二時四十五分と、午後三時三十八分づつ手習をなすときは、其の合計の時間は幾何なるか。

- (一二) 大工あり、二軒の家を建つるに、甲の家は、六十五日十三時二十分間、乙の家は、四十九日十時四十五分間を要するとき、其の合計幾何なるか。
- (一三) 三箇所の山林あり、甲は一町五段八畝二十五歩、乙は三町四段七畝十八歩なりと云ふ、合計幾何なるか。
- (一四) 旅人あり、初日には十二里三十五町三十間を歩み、第二日目は九里十九町四十八間を歩み、第三日目は十里三十一町五十間を歩みたりといふ、此の人の三日間に歩みたる道程は合計

幾何なるか。

(二五) 親子三人あり、父の年は三十八年五箇月、母の年は三十五年十一箇月、子の年は十三年六箇月なりといふ、三人の年合せて幾何なるか。

(二六) 農家にて初日は二段五畝十歩を耕し、次の日は三段二十歩を耕し、次に尙ほ五段八畝三十五歩をあませりといふ、此の總段別幾何なるか。

(二七) 人あり、初日は馬車にて二十九里三十町五十間を歩き、次日は徒歩にて十二里二十六町三十間を歩き、三日目は人力車に

て二十里五十八間を歩いて、或る地に達せりといふ、此の人幾何の道程を歩きしか。

(二八) 甲乙二家の土地の段別を調査し、甲は五十八町九段五畝二十九歩にして、乙はこれより十五町三段七畝十五歩多しといふ、乙の段別幾何なるか。

(二九) 或る人、田地八町五段三畝十八歩を所有し、後更に一町八段六畝十五歩を買ひ足せりといふ、此の人の現在所有する田地は幾何なるか。

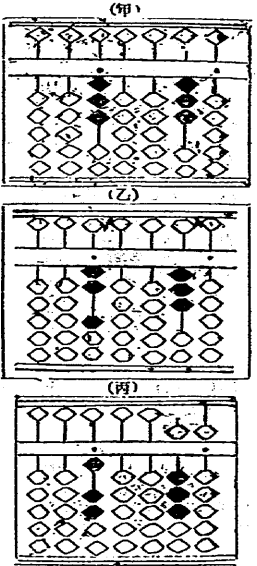
(三〇) 次の段別を合算せよ。
畑 二町四段五畝十九歩

田 三町五段七畝十八歩
山林 五町八段九畝十五歩

(三) 減法

先づ一數を置き、これより減すべき數の各項を上項より順次に、それと相當の桁より減すべし。若し其の桁にて減すること能はざるときは、被減數の上の桁より一を引き去り、被減數の桁に、上項の一に相當する下項の數を加へて、減法を行ふべし。

(例) 三時三十分より一時三十五分を減せよ。



先づ(甲)の如く、三時三十分と置き、次に(乙)の如く三時より一時を減すれば、二時となる。されど、三十分より三十五分を減すること能はざるを以て(丙)の如く二時の二より、また一を減じて一時の分數六十を三十に加へて、三十五を減すれば、五十五となる。即ち一時五十分は其の答なり。

問題

- (一) 三町五十六間より二町四十八間を減ぜよ。
- (二) 七里三十五町より五里十七町を減ぜよ。
- (三) 十五里三十五町四十間より、十二里二十五町五十間を減ぜよ。
- (四) 七日十五時より四日十三時を減ぜよ。
- (五) 十二時二十八分より八時四十分を減ぜよ。
- (六) 一段三畝二十歩より九畝十五歩を減ぜよ。
- (七) 三段八畝九歩より二段一畝十二歩を減ぜよ。

- (八) 十八町三十五間四尺より七町十六間五尺と九町四十間三尺とを減ぜよ。
- (九) 三時五十六分より一時四十分三十五秒と一時四十五分とを減ぜよ。
- (一〇) 六日十五時四十分より二日十六時三十八分と二日二十時とを減ぜよ。
- (一一) 宅地は三畝十九歩にして畑は十七畝五歩なり、其の宅地と畑との差は何程なるか。
- (一二) 甲乙二人の職工あり、一つの仕事をなすに、甲は五日六時三十分を要し、乙は六日五時二十

五分を要すといふ、甲は乙より早くなしとぐる時間何程なるか。

(二三) 旅人あり初日は十五里三十町四十間を歩き、次の日は初日より三里三十五町五十間少く行きたりといふ、この人次の日は幾何の里程を歩きしか。

(二四) 脚夫あり毎日午前七里二十四町三十五間を歩み、午後には午前より三十町五十間少く歩むといふ、午後には歩むべき里程は幾何なるか。

(二五) 畑三町五段三畝の内、九段七畝二十歩を賣り拂へり、其の残り何程なるか。

り何程なるか。

(二六) 甲乙の旅人あり、一日に甲は十三里三十町五十間を歩み、乙は甲より一里三十五町五十五間少く歩むといふ、乙は一日に幾何の里程を歩むか。

(二七) 甲乙二人自轉車の競争をなし、甲が三十四町二十一間五尺を走る間に、乙は三十五町四十一間四尺を走れりといふ、其の差は何程なるか。

(二八) 田と畑と山林と合せて、十三町八段五畝十六歩あり、其の内、田は三町九段七畝二十歩にして、畑は四町六段二十五歩なり。

といふ、山林の段別幾何なるか。

(一九) 甲乙丙三人の男子あり、甲は二十三年八箇月にして、乙は甲より四年十箇月少く、丙は乙より三年七箇月少しといふ、乙及び丙の年は各幾何なるか。

(二〇) 三人の職工あり、甲は毎日九時五十六分づつ働き、乙は、甲より一時三十分少く働き、丙は乙より四十五分少く働くと、いふ、乙と丙とが一日に働く時間は各幾何なるか。

(四) 加減法

問題

(一) 15町 59間 2尺+22町 11間 5尺-27町 40間 2尺

(二) 1里 18町 19間-35町 20間+18町 15間

(三) 25畝 19歩-19畝 25歩+18歩

(四) 134畝 5歩-118畝 9歩+2畝 19歩

(五) 2時 40分 15秒+3時 35分 50秒-15分 20秒

(六) 五週三日十五時と、一週五日十三時との和より、四週五日八時を減ぜよ。

(七) 十一年八箇月と二十二年十一箇月との和は、三十五年より幾何少きが。

(八) 一里十九町四十三間と三十五町五十八間との差に、十八町

二十八間を加へよ。

(九) 一日十九時三十分と二日十二時二十五分との和より、三日六時五十八分を減ぜよ。

(一〇) 一町九段七畝十五歩より、一町二段八畝三十歩を減じ、八段九畝十八歩を加へよ。

(一一) 三人の農夫あり、其の毎日耕す所は、甲は九畝三十三歩、乙は八畝十九歩、丙は八畝二十五歩なりといふ、今此の三人合して一日の耕す所は何程なるか。

(一二) 或る人、田一町五段八畝二十五歩と、畑一町二段九畝二十八歩とを所有せり、然らば、田は畑

より幾何多きか、又田と畑との合計何程なるか。

(一三) 二人の大工あり、一の家を建つるに、甲は四十五日十五時を要し、乙は六十日を要すといふ、甲は乙より幾日早く仕上ぐるか。

(一四) 甲乙二人あり、十五里二十五町三十間を距る、兩地より相向ひて出發し、甲が八里二十七町四十間進みたる時、兩人行逢ひたりといふ、此の時乙は何程の道程を進みたりしか。

(一五) 右兩人が進行せる道程の差は何程なるか。

(一六) 八畝十八歩の畑中に三畝二十歩の藪ありといふ、藪を除きたる残り何程なるか。

(一七) 左の合計幾何なるか。

田 三町九段八畝二十歩

畑 一町五段七畝十九歩

山林 二町六段九畝十五歩

(一八) 旅人あり、二時三十分間汽車に乗り、又三時四十五分間歩行して、二十五里三十二町の地に達し、次に一時五十分間馬車に乗りて、四里十八町行きたりといふ、この時間及び里程の合計各幾何なるか。

(一九) 旅人あり五十里の道を行く

に、十五里十八町は人力車に乗り、二十里十五町は馬車に乗り、其の他は徒歩にて旅行せりといふ、此の人、馬車に乗りし里數は、人力車に乗りし里數より何程多きか。又徒歩せし里程は何程なるか。

(二〇) 三人の兄弟あり、長子は二十一年八箇月、次子は十九年十一月、三子は十六年七箇月なりといふ、兄弟三人の年齢合せて何程となるか。

(二一) 大工あり、二軒の家を建つるに、甲の家は五週六日を費し、乙の家はこれより一週五日多く

費すといふ、乙の家に費す日數は何週何日なるか。又甲乙二軒の家を仕上ぐるには、何週何日を要するか。

(二二) 或る人、田一町七段九畝二十七歩と畑二町五段三畝十五歩とを有せしが、後田畑合せて二町一段九畝二十歩を賣り拂へり、この人現在所有する田と畑との段別合計幾何なるか。

(二三) 八町九段五歩の山林あり、内三町五段八畝十五歩は杉林、三町八段九畝二十五歩は松林にして、其の他は雑木山なりといふ、雑木山の段別何程なるか。

(二四) 兒童あり、毎日一時三十五分間は讀本をよみ、一時五十分間は習字をなし、一時三十分間は算術をなすといふ、この時間合せて幾何なるか。

(二五) 甲乙二人、自轉車にて走れるに、一時間に甲は五里三十二町五十間にして、乙は六里八町五十八間なりといふ、乙は甲より何程はやくか。

第四章 練習及び應用

雜題

- (一) $23.75 + 14.56 + 12.38$
- (二) $140.22 + 12.78 - 129.09$
- (三) $2.34 + 8.96 + 5.78 - 10.97$

(四) $15.68 - 4.795 + 3.47 + 2.34$

(五) $13.79 + 2.56 + 3.73 - 5.84 - 4.89$

(六) 金壹圓貳拾九錢五厘と貳圓參拾五錢八厘との和より、壹圓九拾八錢參厘を減ぜよ。

(七) 金百六拾八圓五拾錢と百五拾七圓四拾八錢との差に、五拾九圓八拾五錢を加へよ。

(八) 米百五十六石四斗五升と八十九石六斗七升との差に、七十六石七斗九升を加へよ。

(九) さつまいも十五貫四百六十八匁と馬鈴薯十八貫九百五十八匁と長芋四貫六百六十匁とあり、合計幾何なるか。

(一〇) 米一俵の重さ十六貫五百八十匁にして、麥一俵の重さはこれより四貫二百九十五匁少しといふ、米麥一俵つつの重さ合せて幾何なるか。

(一一) 二個の荷物あり、其の目方甲は十四貫九百八十匁にして、乙は十三貫六百九十五匁なりといふ、此の荷物の目方合せて幾何なるか。又甲の荷物と乙の荷物との目方の差幾何なるか。

(一二) 或る人、金貳千圓を以て商業を営み、初め百貳拾五圓六拾五錢を損し、後參百七拾八圓九拾五錢を益せりといふ、この人現

在の所有金幾何。又其の損益何程なるか。

(一三) 米百石を仕入れ、其の内二十四石八斗五升二合と三十一石二斗九升八合と四石二斗九升五合とを小賣せり、残高幾何なるか。

(一四) 或る人金拾五圓を以て、一ヶ月の賄をなす見込なりしが、月末に拂をなし、に魚代五圓七拾九錢五厘、野菜類代參圓拾九錢八厘、乾物類代貳圓八拾錢七厘、炭代壹圓拾九錢八厘なり、といふ、差引殘金幾何なるか。

(一五) 繩二丈九尺七寸二分と六丈七尺九寸七分と三丈九尺六寸と五丈三尺八寸八分との四本をつなぎ合せて、土手の長さをはかりしに、二丈三尺七寸あまりしといふ、土手の長。幾何なるか。

但し繩はつなぎのため、すべて長を六寸を減じたり。

(一六) 2日 12時 15分 + 3日 10時 40分 + 20時 25分

(一七) 15時 40分 + 4秒 - 13時 23分 15秒 + 15時 39分 20秒

(一八) 14年 9月 + 2年 8月 + 7年 11月 + 3年 7月 + 15年 8月

(一九) 158畝 19歩 + 237畝 18歩 + 7畝 12歩 -

(一) 12畝、17歩

(二〇) 1里、19町、25間+2里、18町、45間-1里

30町、28間

(二一) 甲地より乙地まで十五里三十五町三十八間、乙地より丙地まで七里十八町三十五間、丙地より甲地まで十九里二十三町四十間ありといふ、今甲地より發して乙地に至り、さらに丙地に至るものと、甲地より直に丙地に至るものと、幾何の差あるか。

(二二) 前問に於て、甲地より乙地を經て丙地に至り、それより直に甲地に歸らば、道程合せて幾何

となるか。

(二三) 或る人、田地六十八町三段五畝二十五歩を所有せしが、このうち二十七町八段七畝二十八歩を分ちて分家に與へたり、分家と本家との田地の差何程なるか。

(二四) 或る人、午前七時三十五分に東京を發し、午後三時四十八分に横濱に著せりといふ、途中幾時間を費ししか。

(二五) 農夫あり、畑一町五段六畝を所有し、この内四段一畝十九歩は粟をしつけ、三段二畝三十歩は甘薯をうゑ、二段九畝十歩は

馬鈴薯を植ゑたり其の空地何程なるか。

21204
小算術(珠算)高等科卷一終

明治三十四年三月二十日印刷
明治三十四年三月二十三日發行
明治三十五年七月十九日訂正再版印刷
明治三十五年七月二十三日發行

定價各金拾八錢
書之部金拾五錢

文學社編輯所編纂

東京市日本橋區本町四丁目十六番地

發行所 小林義則

東京市日本橋區本町四丁目十六番地

發售文學社

東京市神田區錦町三丁目一番地

印刷所 文學社工場

大賣捌所 各府縣下特約書林

著作權登錄濟

